

子豚が走る，怒る——奔豚気

池野 一秀

長野松代総合病院小児科部長（長野市）

● 「気」とは

漢方医学の基本概念で、「気」「血」「水」のうち、特に「気」について理解するのは難しいと思います。その一方、「気」を含む単語は、日常会話で何気なく口にする機会が多いのも確かです。「元気がない」「気が乗らない」「気の毒に」「気もそぞろ」「空気読めない＝KY」などなど。ちなみに移り気な女子高生たちは、最近ではKYというと「KOINO YOKAN（恋の予感）」を意味するとか。今回は、気の異常に本気で苦しむ患者さんのお話です。

● 大好きな部活だったのに胸が苦しい

16歳、高校2年生の女の子はバスケット部員でした。強豪校に入学し、ずっとレギュラーとして頑張り、3年生の引退を受けてキャプテンに選ばれました。しかし、その頃から、部活を終えた後に胸がドキドキして息苦しくなるというのです。それもお臍の下からキューツと締め付けられるように感じて、さらに胸から咽が苦しくなり、心臓がドキドキして呼吸が速くなると言います。身長155.6cm、体重46kgで、いかにもスポーツができそうな体型です。診察では、臍上悸が著明、手掌に多量の発汗がみられました。安静および負荷心電図、24時間ホルター心電図も異常なく、

甲状腺機能も正常でした。

部活について詳しく聞いてみると、バスケット部に関しては、創部以来、地区大会で必ず優勝している、いわゆる常勝校でした。自分がキャプテンになって、ここで負けるわけにはいかないという責任感が彼女を苦しめていたのでしょうか。そこで治療は、緊張感とストレスをとるため桂枝加竜骨牡蛎湯と甘麦大棗湯を1包ずつ（朝夕）投与しました。すると投与後2週間で、部活後の呼吸困難はなくなり、呼吸苦があったのは、学校行事の登山前後に2回のみでした。高校生の登山といっても、山国信州では3,000メートル級の日本アルプスへ登ります。過去には、遭難して死者が出た学校もあるくらいです。その登山への不安で、症状が出現したものと考えられました。

その後、「味が気に入った」甘麦大棗湯を練習前に頓用すると調子がよいということでした。部活は、地区大会を勝ち抜き、ブロック大会へ進みました。この

表 奔豚気（類似）病態診断基準（寺澤による）

1. 腹部から心下あるいは胸内への突き上げ感
2. 発作性の顔面紅潮
3. 発作性的上熱下寒
4. 動悸発作
5. 臍上または臍下の悸
6. 不安感、焦燥感
7. 発作性の頭痛、咽喉閉塞感、あるいは胸内苦悶感

（判定）以上7項目のうち、3項目以上を満たすもの。

時点で「地区大会無敗を守る」という彼女のミッションはコンプリート（完了）し、廃業としました。

●子豚が走る「奔豚気」

このような症状は、漢方では「奔豚気」と呼ばれ、英語では running pig syndrome と訳されるようです。患者さんに詳しく症状を訊ねると、一様に「お臍のあたりからドキドキが駆け上がってきて、咽を通り過ぎ、最後に顔がカーッと熱くなる」と言います。この症状は、正常なら上から下へ流れるべき「気」が、瞬間的に逆流することによって起こるといわれます。

典型的な奔豚気の症状を訴えたお母さんに、子豚の説明をしたら、「私の体の中を子豚が走るんですか？ そんな病名本当にあるんですか。先生、私をからかっているでしょう」と信じてくれませんでした。しかし、奔豚気病に効くといわれる苓桂甘藶湯をエキス製剤の苓桂朮甘湯と甘麦大棗湯の合方として処方したところ、内服開始1日目に症状が消失し、納得してもらえました。

●奔豚気病の原因

「奔豚」は『金匱要略』の奔豚気病脈証併治第八にも登場する病名で、「奔豚の病は少腹より起り、上っ

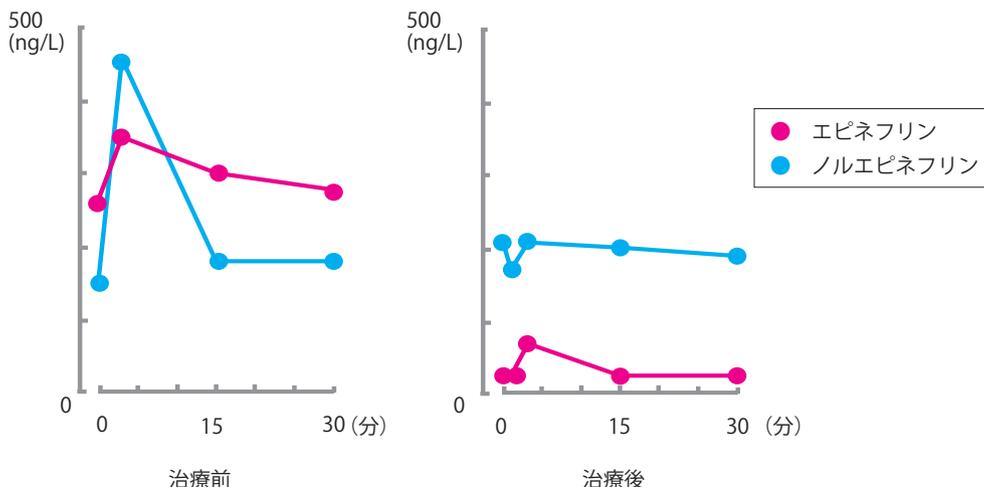
て咽喉を衝き、発作すれば死せんと欲し、復還りて止む。皆恐驚よりこれを得」と説明されています。森田幸門先生の『傷寒論入門』¹⁾では、「血管壁が不随意に痙攣的に収縮し、それが下腹部の血管から胸部のそれに波及するとき、恰も豚が腹中を奔走するが如く感ずるものをいう」と病態に言及しています。

現在では、寺澤捷年先生は、病態診断基準²⁾を示し、7項目のうち3項目以上を満たすものと定義しています（表）。さらに、奔豚の症状に一致してエピネフリンまたはノルエピネフリンの一過性の過剰放出があることが、寺澤捷年先生と土佐寛順先生により報告されています³⁾。報告された症例では、良枳湯（茯苓・半夏・桂枝・大棗・甘草・良姜・枳実）で4週間治療後、同じ刺激を加えても奔豚の症状がなくなり、血中エピネフリンまたはノルエピネフリンの一過性の上昇もなくなりました（図）。

●「気」と「水」

奔豚気は、恐怖や驚きなどストレスが加わって起こります。ならば、今回の症例はキャプテンとしてチームを率いることがストレスだったはず。なぜ、練習中ではなく練習後に症状が出るのか最初は理解できませんでした。寺澤先生らの症例で、奔豚気の誘因として「胃ゾンデより空気を注入」と記載されているのを

図 奔豚気病のエピネフリン・ノルエピネフリン濃度（寺澤・土佐による）



みて思いつきました。おそらく激しい練習を終えた彼女は、水分を摂らずにはいられなかったと想像されます。水分で胃が拡張されることで最後のスイッチが入り、カタパルトから戦闘機が発進するように奔豚気が上昇していったのでしょう。初診時にみられた、著明な臍上悸も水滯と関係があったかもしれません。

● 奔豚気の治療

このように、奔豚気の原因を「気」と「水」に求めれば、自ずと治療の方向性も見えてきます。土佐寛順先生は、奔豚気の治療に用いられる処方として、苓桂朮甘湯・桂枝人参湯^{けいしにんじんとう}・苓桂朮甘湯+甘麦大棗湯・苓桂朮甘湯+呉茱萸湯^{ごしゆゆとう}・苓桂朮甘湯+人参湯・桂枝加竜骨牡蛎湯^{さいこかりゅうこつぼれいとう}・柴胡加竜骨牡蛎湯をあげています⁴⁾。いずれも「気」と「水」に関与する処方であることがわかります。

● 豚は怒っている

あらためて「奔豚」という字を眺めると、「奔」の字は古来「憤」と同じように用いられ、長沢元夫先生によると奔豚は「憤る豚」という意味もつそうです。清の時代の『古方選注』という文献にも「元来、豚は猪の子孫なので性格は憤っている。そのため憤豚という呼び方もある。そして、魚のフグも少しの刺激でプーッと怒ったように膨らむので河豚と書くのだ」とあるそうです⁵⁾。しかし、ここでフグは河ではなく海の魚だという突っ込みを入れてよいでしょうか。しかも、河を海に直すと海豚（イルカ）になってしまいます。私はイルカと水中で一緒に遊んだ経験があるのですが、どう見てもイルカは怒っている顔ではありません。水中でもおかまいなく親しげに人間に話しかけてくるイルカの顔は、にっこりと笑っているように見えてしまいます。

【文献】

- 1) 森田幸門. 傷寒論入門. 漢方治療研究所, 1956, p.175.
- 2) 寺澤捷年・土佐寛順・檜山幸孝ほか. 奔豚気病に関する一考察(III) 一奔豚誘発試験法による病型分類一. 日本東洋医学雑誌. 1987, 38(1), p.17
- 3) 寺澤捷年・檜山幸孝・土佐寛順ほか. 自律神経発作「奔豚気病」の病態解析. 和漢医薬学会誌. 1984, 2(1), p.224.
- 4) 土佐寛順. エキス剤を活用した漢方薬の使い方〈プライマリリーケアにおける使い方〉奔豚・心悸亢進. 臨床と薬物治療. 1992, 11(3), p.45.
- 5) 長沢元夫. 康治本傷寒論の研究. 健友館, 1982, p.152.



イラスト・池野一秀